看護実践学会誌　Journal of Society of Nursing Practice, Vol.36, No.2, pp.63～70, 2025

研究報告

精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援についての国内文献レビュー

Review of Japanese literature on support for nurses with mental health issues provided by certified nurse specialists in psychiatric mental health nursing

亀田　妃美希[1)]，大江　真人[2)]，長山　豊[2)]

Hibiki Kameda[1)]，Masato Oe[2)]，Yutaka Nagayama[2)]

[1)]久居病院，[2)]金沢医科大学看護学部

[1)]Hisai hospital，[2)]School of Nursing, Kanazawa Medical University

キーワード

メンタルヘルス不調，メンタルヘルス，精神看護専門看護師，リエゾン精神看護，精神的援助

Key words

mental health issues，mental health，certified nurse specialist in psychiatric mental health nursing
liaison psychiatric mental health nursing，mental support

要　旨

目的：国内における文献から、精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援についての現状を概観し、支援の内容を明らかにする。

方法：対象文献は、医学中央雑誌Webを用いて検索した。対象となった14文献から精神看護専門看護師が行う看護師のメンタルヘルス支援の内容の記述を抜粋し、支援の内容や意味ごとに分類し、カテゴリーにまとめた。

結果：精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援の内容は、【ストレスマネジメント能力の向上】、【相談につながりやすい関係づくり】、【コンサルテーション前後のフォロー】、【看護管理者との協働】、【ニーズのある看護師に対する相談】、【業務上の危機的場面後のフォロー】、【専門機関へ繋ぐ】、【休職から復職後の継続的な面談】の８つの支援を表すカテゴリーに分類された。

考察：精神看護専門看護師の支援とともに、職場での身近なサポートや外部資源までの幅広い資源を活用しながら看護師のメンタルヘルス支援を行うことが必要である。

連絡先（Corresponding author）：大江　真人
金沢医科大学看護学部
〒920-0293　石川県河北郡内灘町大学１丁目１番地

はじめに

厚生労働省の調査[1]によると、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる事柄があると回答した労働者の割合は、82.2%であった。そのような背景から、厚生労働省[2]は、「労働者の心の健康の保持増進のための指針（2015年改正）」を策定し、職場においてメンタルヘルス対策への取り組みが行われるようになった。メンタルヘルス不調により連続１か月以上休業した労働者又は退職した労働者がいた事業所の割合は2021年度の10.１％から2022年度の13.3%に上昇し、強い不安やストレスを抱えている労働者の割合は82.2%となり前年の53.3%から増加した背景があり、63.4%の事業所がメンタルヘルス対策に取り組んでいる[1]。しかし、メンタルヘルス対策を実施するスタッフへの教育や職場復帰における支援などの取り組みのあり方についてはそれぞれの事業所等において多様な方法で行われているため、実態や効果的な支援方法が十分に検討されているとはいえない。

特に、看護師を対象にした調査である病院看護実態調査[3]によれば、2022年度に傷病による連続休暇（７日間以上）を取得した正規雇用看護職員がいたと回答した病院は 85.7%で、連続休暇を取得した者がいた場合にメンタルヘルス不調者がいたと回答した病院は 74.3%であった。三木[4]は、看護職は患者と接する時間が長くチームで行う仕事であることから、他の医療従事者よりもストレスが強いことを課題として挙げている。加えて國井ら[5]は、看護師がメンタルヘルス不調を感じたときの状況として、労働環境と人間関係が関わると報告しており、看護職に特有の勤務形態や業務内容に伴うものであることや他の看護師や多職種との関わりによるストレスが明らかになっており、個人での対策が容易ではないことも特徴である。

メンタルヘルス対策は一般企業の方が医療機関よりも実践は進んでいるといわれている[6]。医療機関でのメンタルヘルス対策が容易ではない背景として、労働者としての医療者を支援するための専属の産業医、看護師が不在であることや各職種の専門性、独立性が高いことなどの一般企業とは異なる特徴が多く、メンタルヘルス支援が難しいことがあげられる[7]。さらに、勤務する者の多くが医療従事者であることから、メンタルヘルスに関する知識を有しており個人で対策ができていると思われていることも、対策が不十分であることに関連している可能性もある。そのような背景から、実際に職場でのメンタルヘルス支援を行うことが多いのは、上司や同僚の看護師が中心となると推察される。しかしながら、病院に勤務している看護師長や主任などの役職のある看護師への聞き取り調査では、それらの看護師のメンタルヘルス対策への参加率は全体で30.4％と低く、不参加理由として「対策を必要としていない」が６割以上を占めたと報告されている[8]。役職のある看護師は、メンタルヘルス対策の必要性を感じていない実態がある。さらに、川口[10]は看護師のストレスの存在やメンタルヘルス不調の問題が医療事故の原因となる「うっかりミス」、「観察不十分」につながることを指摘している。このように、看護師のメンタルヘルス不調は、業務上のミスにつながることから、看護師自身の健康だけでなく患者のケアへの影響も大きいと考えられる。

以上より、看護師のメンタルヘルス支援は重要な課題である。看護師のメンタルヘルス支援を行う役割を担う立場として、精神看護専門看護師がある。精神看護専門看護師は、その役割として実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行う専門看護師の一つで、精神疾患患者に対して水準の高い看護や一般病院での心のケアを行う「リエゾン精神看護」の役割を提供するものである[11]。精神看護専門看護師の役割には、患者や家族を対象としたものだけではなく、看護師のメンタルヘルス支援もある。しかし、精神看護専門看護師の実践内容に関する報告は、精神科リエゾンチームの活動内容や身体疾患をもつ患者の精神看護への助言が中心であると報告されている[12]。精神看護専門看護師が精神科病棟に就職した新卒看護師を３年間に渡って対話による支援を行った研究[13]では、【CNSと信頼関係を築き安心して相談できる体験】、【身近な先輩にはしにくい相談をする体験】、【自分自身や自分の成長に気づく体験】、【CNSに支えられながら困難を乗り越える体験】、【CNSとのやりとりから学ぶ体験】が明らかにされており、精神看護専門看護師が相談相手となり、困難を乗り越えたり学んだりする体験につながる支援を行っていることが明らかにされている。ただし、これらは、精神科病棟に勤務する新卒看護師を対象に行ったものであり、メンタルヘルス不調をもつ看護師を対象に行ったものではない。以上のことから、精神看護専門看護師によるメンタルヘルス不調をもつ看護師へのメンタルヘルス支援のあり方は、先行研究では明らかになっていない状況である。精神看護専門看護師による看護師へのメンタルヘルス支援の内容を明らかにすることにより、

看護師が健やかにいきいきと働くことができるようになり、メンタルヘルス不調をもつ看護師の離職予防、看護の質向上や医療事故の防止などに貢献すると考えられる。そこで、精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援の内容が紹介されている文献をもとに、精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援の現状を明らかにする必要があると考えた。

目　的

精神看護専門看護師によって行われている看護師のメンタルヘルス支援についての現状を概観し、メンタルヘルス支援の内容を明らかにすることを目的とした。

研究方法

１．研究デザイン

文献レビューである。

２．文献検索と対象文献の選定方法

対象文献は、医学中央雑誌Webを用いて検索した。まず、フリーワード検索において「看護師」、「メンタルヘルスorメンタルヘルス不調」、「支援or就労支援」、「精神看護専門看護orリエゾン精神看護専門看護師」について検索し、それぞれをANDで組み合わせた。その結果を「原著論文」と「解説・総説」に限定して絞り込んで検索した。精神看護専門看護師が行うメンタルヘルス支援については、支援内容の個別性が高く個人情報保護等の観点から、研究論文としての公表数が少ないと予測されたため、研究論文としての形式が整っていないものであっても雑誌や学術誌等に掲載されている「解説」や「総説」に該当するもので、精神看護専門看護師によるメンタルヘルス支援の内容が記述されているものも対象文献に追加した。さらに、Google Scholarにおいて「看護師」、「メンタルヘルス」、「メンタルヘルス不調」、「就労支援」、「精神看護専門看護師」、「リエゾン精神看護専門看護師」のキーワードでそれぞれ検索し、精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援の内容が記述されている文献もハンドサーチにより追加した。なお、メンタルヘルス支援の対象が看護師のみではなく病院職員を対象にしたものや明確な記載がないもの、感染症拡大期や災害時などの一時的な危機状況にある看護師を対象にしたものは対象文献から除外した。

３．対象文献の整理と分析方法

対象となった文献をレビュー・マトリックス方式[14]を用いて、著者・発行年、目的、方法、対象、結果・考察の項目に沿って整理した。なお、対象については、同じ文献の中で看護師以外を含む複数の対象について記載されているものがあり、表には本研究テーマにおける対象をあげた。整理を行う際には、３名の研究者が別々に文献から精神看護専門看護師が行うメンタルヘルス支援の内容の記述を抜粋し、その内容の確認をして合意が得られたものを精神看護専門看護師が行う看護師へのメンタルヘルス支援とした。さらに、抜粋した支援について、支援の内容や意味ごとに分類し、カテゴリーにまとめた。

結　果

１．文献検索の結果

医学中央雑誌Webで収載誌発行年を限定せず検索を行った結果、７件がヒットした。７件のうち、精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援に関連する文献は３件（No.1、No.8、No.14）であった。ハンドサーチにより追加した文献は、11件であった（表１）。なお、検索日は、2024年６月14日であった。

２．文献の研究方法

対象文献の方法は、No.1のみが質的帰納的研究であり、No.2～14は精神看護専門看護師が行っているメンタルヘルス支援の内容を報告する解説であった。

３．対象文献におけるメンタルヘルス支援の内容

精神看護専門看護師による看護師へのメンタルヘルス支援の内容は、【ストレスマネジメント能力の向上】、【相談につながりやすい関係づくり】、【コンサルテーション前後のフォロー】、【看護管理者との協働】、【ニーズのある看護師に対する相談】、【業務上の危機的場面後のフォロー】、【専門機関へ繋ぐ】、【休職から復職後の継続的な面談】の８つの支援を表すカテゴリーに分類された。

【ストレスマネジメント能力の向上】は、心身の健康保持のための知識や考え方（No.2、No.12、No.14）やストレスマネージメント（No.5、No.6、No.8）に関する研修の実施により、看護師がメンタルヘルス不調に至らないための支援が行われていた。また、ミーティングを開催して情緒的な発散の機会やお互いの成長を認め合える場を作ることでメンタルヘルス不調を回避するための支援も行われていた（No.7）。

【相談につながりやすい関係づくり】は、すべての新人看護師に対する面接の実施（No.14）、相

表１－１　対象文献一覧

No.	著者 (発行年)	目的	方法	対象	支援内容
1	安田 (2006)	精神看護専門看護師のコンサルテーションに焦点を当て、ナースの認識する専門看護師の援助内容について明らかにする	質的帰納的研究	精神看護専門看護師のコンサルテーションを受けたことのある病院に勤務する看護師	・コンサルテーションを受けた際に看護師や看護師から相談を受けた患者のことを気にかける ・コンサルテーションを受けた際に困難な問題を看護師が１人で抱え込ませないようにする ・コンサルテーションを受けた際に看護師のカタルシスをはかる
2	古城門 (2006)	精神看護専門看護師である著者が行っている看護師へのメンタルヘルス支援についての活動内容を記述する	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・コンサルテーションを受けた際に看護職員の精神的健康度にも関心を向け、かかわる ・病棟カンファレンスで看護職員自身が感じている葛藤や感情にを話し合えるようサポートする ・危機的出来事が起こった場合に情報提供や教育的視点を含んだサポートグループを開催する ・看護管理者や先輩・同僚看護師からの看護職員に関する相談に応じる ・支援が必要な際は、管理者への教育支援、メンタルヘルスサポートを行う ・院内の研修でストレスマネジメントに関する研修により心理教育的にかかわる ・看護師からのメンタルヘルスに関する相談に応じる ・専門的な介入が必要と判断した場合には、心理カウンセリングや精神科医師などを紹介する
3	早川 (2006)	精神看護専門看護師である著者が行っている看護師へのメンタルヘルス支援についての活動内容を記述する	実践内容の報告	精神看護専門看護師コンサルテーションを行った病院に勤務する看護師、病院に勤務する医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師	・コンサルテーションを受けた際に患者に関わる医療者や家族と連携・調整を図る ・コンサルテーションを受けた際に看護師がカンファレンスで意見が述べられる機会をつくる ・患者のケアに関する相談を受けた際に看護師の反応に留意し、思いを聴く ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、個人相談やグループで支援する ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、ストレス反応の心理教育を行う ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、健康的なコーピングができている点を伝える ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、精神的不調が遷延したり強くなる際に声をかけるよう伝える
4	釜 (2009)	総合病院に勤務する精神科専門看護師が院内での患者の自殺に遭遇した看護師に行った支援を紹介する	実践内容の報告	患者の自殺に遭遇した看護師	・　患者の自殺に対する看護師としての対応が間違っていなかったことを保障する
5	梅澤 (2009)	総合病院に勤務しているリエゾン精神看護専門看護師の活動を記述する	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・日々病棟に足を運ぶなかで、現場の看護師のストレス状況について把握するように配慮する ・病棟カンファレンスで看護師への情緒的サポートにも努める ・個別カウンセリングを行い、専門的な精神科治療が必要な場合は、精神科治療へ繋ぐ ・看護師自身の対処を可能にするため「看護師のストレスマネジメント」に関する講義を行う
6	紺井 (2010)	総合病院に勤務しているリエゾン精神看護専門看護師の活動を記述する	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・仕事上の悩み、プライベートの悩みについての面接での相談を行う ・職場の人間関係や医療チーム間の葛藤状況の調整や支援を行う ・ストレス・マネジメントやメンタルヘルス向上のためのサポートを行う
7	紺井 (2011)	臨床の看護師がさらされるストレッサーやそれに対する看護師の反応、および看護師のストレスマネジメントのための具体的な方法について記述されている	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・情緒的な話ができたり情緒的な発散ができるミーティングを定期的に開く ・個人の成果や成長を互いに認め合うことができる風土を作る ・新人看護師のリアリティショック、異動による職場への不適応、職場の人間関係で悩んだり今後の方向性に迷ったりするときに、秘密厳守を前提に相談役としてサポートする ・スタッフナースとの関わり方や休職後の職場復帰の方法について管理者から相談を受けサポートする ・　適宜必要に応じて精神科医や心療内科医などの受診につなげる

表１-２　対象文献一覧

No.	著者(発行年)	目的	方法	対象	支援内容
8	安藤(2012)	大学病院に勤務するリエゾン精神看護専門看護師が行なっている看護師のメンタルヘルス支援を報告する	実践内容の報告	病院に勤務する看護師に対するメンタルヘルス支援の取り組みを行なった精神看護専門看護師	・病棟再編に伴う調査でGHQ2による評価でフォローが必要と判断した部署で「心のケアに関する勉強会」を開催する ・暴力を受けた看護師に対して、患者の暴力の問題を共に考える ・暴力を受けたことが看護師にとって外傷体験となっている場合、カウンセリングを行う
9	服部(2012)	公的病院に勤務する精神看護専門看護師が行っている心の健康問題で休業した看護師の職場復帰支援の取り組みについて記述する	実践内容の報告	精神看護専門看護師コンサルテーションを行った病院に勤務する看護師、病院に勤務する医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師	・コンサルテーションを受けた際に患者に関わる医療者や家族と連携・調整を図る ・コンサルテーションを受けた際に看護師が合同カンファレンスで意見を述べる機会をつくる ・患者のケアに関する相談を受けた際に看護師の反応に留意し、思いを聴く ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、個人相談やグループによるサポートを行う ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、ストレス反応についての心理教育を行う ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、健康的なコーピングができている点を伝える ・医療事故もしくはアクシデントを起こした看護師に対し、精神的不調が遷延したり強くなる際には声をかけるよう伝える
10	福嶋(2013)	精神看護専門看護師である著者が行っている患者・家族のケアと看護師へのメンタルヘルス支援についての活動内容を記述する	実践内容の報告	患者の自殺に遭遇した看護師	・患者の自殺に対する看護師としての対応が間違っていなかったことを保障する
11	二宮(2015)	公的病院に勤務する精神看護看専門看護師である著者が行っている看護師のメンタルヘルス支援を報告する	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・日々病棟に足を運ぶなかで、現場の看護師のストレス状況について把握するように配慮する ・病棟カンファレンスで看護師への情緒的サポートにも努める ・必要な場合は個別カウンセリングを行い、専門的な精神科治療が必要と判断した場合は、精神科治療へつなぐ ・看護師自身がストレスに対処できるよう、「看護師のストレスマネジメント」に関する講義を行う
12	渡邉(2017)	精神看護専門看護師が行う看護師のメンタルヘルス支援について、新人看護師やリーダー看護師・副看護師長に対する教育活動や組織での支援体制などが記述されている	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・仕事上の悩み、プライベートの悩みについての面接での相談を行う ・職場の人間関係や医療チーム間の葛藤状況の調整や支援を行う ・ストレスマネジメントやメンタルヘルス向上のためのサポートを行う
13	二宮(2019)	精神看護専門看護師による看護スタッフへのメンタルヘルス支援の実際について、２つの事例を示して記述する	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・情緒的な話ができたり情緒的な発散ができるミーティングを定期的に開く ・個人の成果や成長を互いに認め合うことができる風土を作る ・新人看護師のリアリティショック（学生から社会人、看護学生から看護師という変化のなかで、現実に直面してショックを受けること）、異動による職場への不適応、職場の人間関係で悩んだり今後の方向性に迷ったりするときに、秘密厳守を前提に相談役としてサポートする ・スタッフナースとの関わり方や休職後の職場復帰を管理者から相談を受けサポートする ・必要に応じて精神科医や心療内科医などの受診につなげる
14	武田・石川(2019)	精神看護専門看護師が行う組織内での看護師のメンタルヘルス支援について記述されている	実践内容の報告	病院に勤務する看護師	・看護管理者の促しにより面接を行い、臨床心理士への面接につないだり、精神科の受診を勧奨する ・面接が必要と判断された看護師に対して支持的な面接で傾聴、共感、受容を繰り返し、精神症状のアセスメントを行った内容についてフィードバックする ・看護部に働きかけて所属部署の異動や日勤を中心とした勤務への調整を依頼する ・看護師長からの面接の提案では「大丈夫」と話す看護師に対して面接を実施する ・新人看護師に対して臨床心理士と共同で面接を行い、精神状態の査定とその結果の共有を看護管理者と行う ・看護管理者と看護師に対してメンタルヘルスに関連する講義を行う

談ルートの整備（No.10、No.11、No.12）、ラウンド時に声をかけて看護師の精神状態を把握（No.5）することにより、日常から精神看護専門看護師にアクセスしやすい状況を作る取り組みが行われていた。

【コンサルテーション前後のフォロー】は、コンサルテーションがあった際に精神看護専門看護師が患者や家族、　他職種のことを気にかける（No.2）、看護師が多職種カンファレンスで発言できる場を設ける（No.1、No.2、No.3、No.12）、業務に関する感情を表出できる機会の保障（No.1、No.2、No.12）、コンサルテーションを依頼した看護師のメンタルヘルスへの影響の把握と支援（No.2、No3、No.12）が行われていた。

【看護管理者との協働】は、メンタルヘルス支援が必要な看護師の情報の共有（No.9、No.11、No.14）、看護管理者が行う看護師のメンタルヘル支援への助言（No.2、No.7）、病棟異動や勤務方法に関する助言（No.14）看護管理者のメンタルヘルスへの配慮（No.9）により、看護管理者と協働して看護師のメンタルヘルス支援が行われていた。

【ニーズのある看護師に対する相談】は、看護師からの相談に応じる（No.2、No.7、No.9）、うつ状態の看護師との面談（No.12）、面談時の精神療法的介入（No.13、No.14）が行われていた。

【業務上の危機的場面後のフォロー】は、医療事故を起こした看護師との継続的な情報提供や支持的かかわり（No.2、No.3、No.10）、患者の自死に遭遇して心的外傷体験をした看護師のケアを保障する声かけ（No.4）や患者の暴力に遭遇した看護師への継続的なかかわり（No.8）が行われていた。

【専門機関へ繋ぐ】は、専門的な支援が必要と考えられる際の精神科治療や関係機関への橋渡しが行われていた（No.2、No.5、No.7、No.9、No.10、No.12、No.14）。

【休職から復職後の継続的な面談】は、休職が検討される時期の相談と対処方法の指導（No.12）、復職が可能かの判断（No.9、No.10）、復職後の状況把握と対処方法の検討（No.9、No.11、No.13）が行われていた。

考　　察

１．看護師のメンタルヘルス支援における課題

本研究では、８つの分類のうち２つが【ストレスマネジメント能力の向上】、【相談につながりやすい関係づくり】といった予防や早期発見・対処に関する内容に分類された。労働安全衛生法の一部を改正する法律において「ストレスチェック」が義務化[2]されており、メンタルヘルス対策として予防を重視する施策が行われていることからも、看護師のメンタルヘルス支援においても予防が重要であるといえる。加えて、【休職から復職後の継続的な面談】で復職後の支援が行われていたことから、メンタルヘルス不調を抱える看護師の復職時期の検討や、業務内容や体調管理の支援により、支援のニーズが明確な看護師への支援が行われていたことも特徴的である。

また、本研究では、【コンサルテーション前後のフォロー】、【ニーズのある看護師に対する相談】、【業務上の危機的場面後のフォロー】、【専門機関へ繋ぐ】において、メンタルヘルス不調を抱える看護師に対する様々な支援が行われていることが明らかになった。加えて、看護管理者への教育的支援やメンタルヘルスサポートによる精神看護専門看護師と【看護管理者との協働】が行われていた。しかし、木村ら[8]の調査では、心の健康問題で休職した看護師に対応する職種は、看護師長が86.0％を占めている。さらに、復職後のメンタルヘルス支援について、メンタルヘルス不調を抱える看護師のプライバシーの問題から、看護管理者が所属部署で支援を行う際には、他の看護師を巻き込んだ所属部署の全体での就労継続支援を行うことは容易ではないと推察される。そのような意味においても看護管理者の支援が復職した看護師の就労継続に与える影響は大きい。よって精神看護専門看護師が配置されていない病院においては、メンタルヘルス不調をもつ看護師の身近な存在である看護師長等が行う支援のあり方について明確にして行く必要があると考えられる。その他の支援方法として、所属する組織外の専門機関が行う従業員支援プログラムがあるが、医療従事者にとって相談行動のハードルを低くすることができる一方で、医療機関が従業員支援プログラムを導入するにあたっての経費は、サービス内容や運営方法によってかなり幅があることが課題とされている[15]。

以上から、看護師のメンタルヘルス支援には身近な上司である看護師長等から外部資源までの幅広い支援が重要であると考えられ、実現可能性に応じて精神看護専門看護師や所属する組織外の専門機関が行う従業員支援プログラムを活用していくことも積極的に考える必要がある。

２．研究の限界と今後の課題

本研究で対象とした文献は、精神看護専門看護

師のメンタルヘルス支援の内容について支援内容が明確に記述された国内文献が中心であり、すべての看護師のメンタルヘルス支援に関する実態を明らかにしたものとはいえない。今後は、看護師のメンタルヘルス支援の実態に関する調査や具体的な支援方法を明確にし、職場に浸透させていくための取り組みとその効果検証が必要である。

結　論

１．精神看護専門看護師によって行われている看護師のメンタルヘルス支援に関する研究を概観し、メンタルヘルス支援の内容とその課題を明らかにすることを目的に国内文献レビューを行なった結果、2024年３月までに収録された論文のうち対象文献は14件であった。

２．精神看護専門看護師による看護師のメンタルヘルス支援の実際について記載されている文献の内容から、【ストレスマネジメント能力の向上】、【相談につながりやすい関係づくり】、【コンサルテーション前後のフォロー】、【看護管理者との協働】、【ニーズのある看護師に対する相談】、【業務上の危機的場面後のフォロー】、【専門機関へ繋ぐ】、【休職から復職後の継続的な面談】の８つの支援を明らかにした。

３．看護師のメンタルヘルス支援を効果的に行うためには、メンタルヘルス不調の予防、早期発見・対処、ニーズが明確な看護師の復職のサポートなどの支援を継続しつつ、勤務している病院等の実態に合わせ、看護師長などの職場での身近なサポートから精神看護専門看護師や外部資源までの幅広い資源を活用しながら支援を行うことが必要であることが示唆された。

利益相反

本研究における利益相反は存在しない。

研究助成情報

本研究は、JSPS科研費21K17370の助成を受けたものである。

文　献

１）厚生労働省：令和４年労働安全衛生調査（実態調査）結果の概況，［オンライン，https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/r04-46-50_kekka-gaiyo01.pdf］，厚生労働省，8. 4. 2023
２）厚生労働省：職場における心の健康づくり：労働者の心の健康の保持増進のための指針，［オンライン, https://www.mhlw.go.jp/content/000560416.pdf］，厚生労働省, 10. 31. 2021
３）日本看護協会：2023年病院看護実態調査　報告書，［オンライン，https://www.nurse.or.jp/nursing/assets/100.pdf］，日本看護協会，3. 31. 2024
４）三木明子：産業・経済変革期の職場のストレス対策の進め方 各論４．事業所や職種に応じたストレス対策のポイント，産業衛生学雑誌，44(6)，219－223，2002
５）國井享奈，野村智美，高山裕子，他：急性期病院の看護師がメンタルヘルスに不調を感じたときの状況．日本農村医学会雑誌，66(1)，27－37，2017
６）古口尚美，星野大，菊池綾子：予防的視点でスタッフのメンタルヘルスをサポートする，精神科看護，41(2)，４－８，2014
７）富安哲也，小石川比良来：総合病院におけるメンタルヘルス支援－カウンセラーの立場から－，精神神経学雑誌，114(4)，363－369，2012
８）木村恵子，榎本敬子，三上章允：心の健康問題で休職した看護師の現場復帰支援の現状と課題，厚生の指標，66(12)，29－36，2019
９）厚生労働省：労働安全衛生法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の施行について（心理的な負担の程度を把握するための検査等関係)，［オンライン，https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeneiseibu/0000181835.pdf］，厚生労働省，3. 10. 2024
10）川口貞親：【若年労働者のメンタルヘルス】若年看護職のストレスとメンタルヘルス不調，産業ストレス研究，17(2)，111－117，2010
11）日本看護協会：専門看護師，［オンライン, https://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/vision/cns/index.html］，日本看護協会，3. 11. 2024
12）横井志保：精神看護専門看護師の活動報告～役割開発の過程と現在の活動について～，静岡赤十字病院研究報，42(１)，20－27，2022
13）畠山卓也, 岡京子, 茅根寛子, 他：精神看護専門看護師による対話を通した３年間の継続支援を受けた精神科新卒看護師の体験，駒沢女子大学看護学部研究紀要，２，13－23，2023
14）Garrard Judith：文献レビューの基礎・マトリックス方式，安部陽子訳，看護研究のための文献レビュー マトリックス方式（初版)，医学

書院，１－102，東京，2012
15）高橋千佳：【医療従事者の健康支援と総合病院精神医学】従業員支援プログラム（EAP）からみる医療従事者へのメンタルヘルス支援，総合病院精神医学，27(4)，305－310，2015

対象文献

１）安田妙子：精神看護専門看護師のコンサルテーションにおける援助内容－ナースへのインタビュー調査から，精神科看護，33(1)，49－56，2006
２）古城門靖子：【看護現場のストレスマネジメント考職場環境の活性化をめざして】リエゾンナースによる看護師へのメンタルヘルスケアの現状，看護管理，16(5)，350－355，2006
３）早川昌子：【事例に学ぶナースのメンタルヘルスケア】精神看護専門看護師によるストレスマネジメント 個人と組織の双方に関わる支援，看護，58(8)，2006
４）釜英介：【患者の自殺とナースのケア】ナースのメンタルヘルスケア，Nursing Today，24(8)，63－65，2009
５）梅澤志乃：緩和医療にかかわるチームメンバー第10回（リエゾン）精神看護専門看護師，緩和医療学，11(2)，74－77，2009
６）紺井理和：リエゾンナースとしての役割と活動，病院・地域精神医学，52(3)，2010
７）紺井理和：【透析スタッフのストレスマネジメント】ストレスマネジメントの具体的方法－リエゾンナースの立場から－，臨床透析，27(13)，1707－1714，2011
８）安藤光子：リエゾン精神看護専門看護師の実践－看護師のメンタルヘルス支援を中心に－，滋賀医科大学看護学ジャーナル，10(1)，４－７，2012
９）服部希恵：【看護職員を支えるメンタルヘルス対策と対応】心の健康問題をもった看護職員の職場復帰支援：離職率が大きく改善したとりくみから，師長主任業務実践，17(355)，９－16，2012
10）福嶋好重：【"専門看護師"活用で病院が変わる！看護管理者が知っておきたいCNSの可能性】「専門看護師」実践報告と看護管理者の視点病院全体を視野に入れ，患者・家族，看護師のメンタルヘルスを支援，看護，65(14)，45－48，2013
11）二宮美香：【医療従事者の健康支援と総合病院精神医学】リエゾン精神看護専門看護師による看護スタッフへのメンタルヘルス支援，総合病院精神医学，27(4)，297－304，2015
12）渡邉香織：【医療従事者・支援者のストレスケア】看護師のメンタルヘルス，精神科，30(6)，536－542，2017
13）二宮美香：【心身の危機からスタッフを守る気づきと対処の力をつける】精神看護専門看護師による看護スタッフへのメンタルヘルス支援，看護展望，44(3)，23－27，2019
14）武田美恵子，石川千恵：リエゾン精神看護事例検討会「看護師のメンタルヘルス支援」，精神医療，５(8)，91－99，2023